

きらり 通信

令和元年12月24日(火)発行 第35号

福島県立須賀川支援学校

☎: 0248-76-2511

fax: 0248-72-4729

ホームページ <https://sukagawa-sh.fcs.ed.jp/>

福島県立須賀川支援学校

検索



『子どもの行動を見直してみませんか』 教頭 齋藤 寿紳

近年、国内では「発達障がい」とされる子どもたちが増えていると言われます。環境ホルモンの影響など様々な原因が挙げられていますが、発達障がいの過剰な適用もあるのではないのでしょうか。

発達障がいの背景には、社会文化的な要因があります。特に日本では、対人関係の中で「空気を読むこと」や「集団の規律を守ること」などが必要であり、それを逸脱すると問題視され、場合によっては通院を勧められることもあります。受診して診断名が付くと、関係する人々は「やはり」と納得しますが、本人が置かれている状況には何も変化はないのです。また、人は、他者の行動の要因について、本人を取り巻く環境や状況等の外的要因よりも、本人の内面の要因(性格、能力等)を過大に評価する傾向があります。例えば、怒っている子どもを見ると、「本人が悪い」と考え、何か原因があって怒っているのではないのかと、外的な要因を探ることは疎んじられがちです。

子どもたちが適切な行動様式を身に付け、自らの困り感を解消していくためには、周りの環境やかかわり方をその子どもにあわせて整えていくことが最も重要であり、その方策を関係者と一緒に考える相談支援をさらに充実させていきたいと思えます。

教育支援講演会 御報告

期日: 元年8月21日(水) 13:15~15:45

会場: 須賀川市産業会館 2階研修室

演題: 「こころの病気のある子どもへの教育的支援 (Co-MaMe) について」

講師として国立特別支援教育総合研究所の主任研究員・土屋忠之氏をお招きして教育支援講演会を実施しました。約100名の参加がありました。

講演会では、子どもたちがもつ教育的なニーズを観点別に整理し、そのニーズに対してどのような手立てがより良いのかを考察しました。講演に加え16のグループに分かれてのグループワークでは、校種を越えて活発に意見交換が行われました。



校内支援会議 実施

校内支援会議では、本校の児童生徒への支援・指導の方法や長期的・短期的な目標(目指す姿)の見直しを行っています。会議には本校教員に限らず、関係する機関の担当者の方へ出席していただき、各々の立場からの視点で得られた情報を交換・共有しながら、より良い支援体制の構築に向けての話し合いをしています。

会議の中で現在の指導・支援の検討と確認を行うことで、その後の見通しをより具体的に立てることに努めています。



気軽に御相談を

幼児から高校生までのお子さんの保護者、幼稚園・保育所・子ども園・学校の先生方など、どなたでも御利用できます。本校保護者の方も御利用できます。

本校には特別支援教育コーディネーターの佐藤が保護者の方や関係機関に対する学校の窓口として、また、校内の連絡調整の役割を担う者として、位置づけられています。

ぜひ、「こんなこと相談していいのかな？」など迷われることなく、御相談ください。

まずは、☎0248-76-2511へお電話ください。学校の番号につながりにくい場合には、☎080-3219-8021へお電話ください。

教育相談・研修支援 実績報告

12月現在の報告です。

- ① 幼稚園等に伺っての相談: 45件
- ② 本校においていただいた相談: 39件
- ③ 幼稚園等に訪問しての研修会: 4件

おひとりで悩まずに、まずは気軽に御連絡を下さい。お電話での相談も可能です。